



報道関係者各位

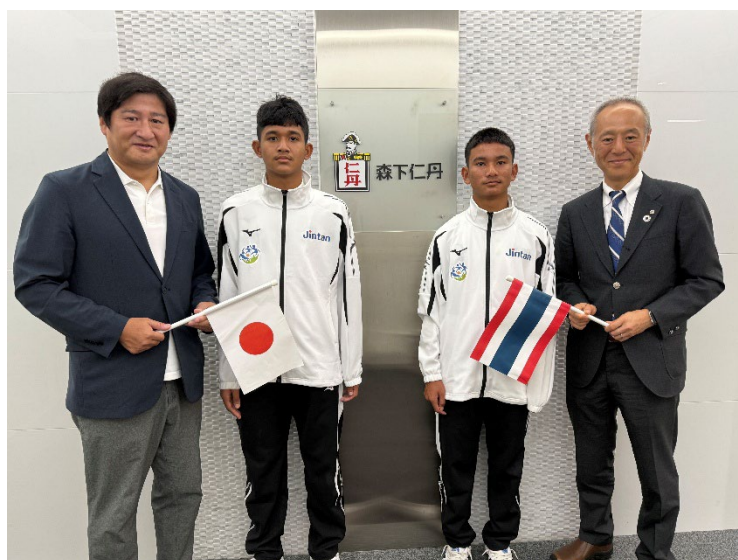
2025年10月23日
森下仁丹株式会社

サッカーを通じて、東南アジアの未来ある子どもたちの夢を応援

「U-14 アセアンドリームフットボールトーナメント2025」 優秀選手が来日

東京ヴェルディアカデミーの練習参加を通じて夢を育む

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 森下雄司、以下「当社」）は、アジアのジュニアサッカー大会「U-14 アセアンドリームフットボールトーナメント 2025」に、冠スポンサーとして協賛しています。本大会において優秀選手に選ばれたタイ人選手2名が、去る9月15日（月）～9月21日（日）の間に日本に滞在し、東京ヴェルディアカデミーの練習に参加しました。9月17日（水）には、優秀選手2名が当社東京オフィスを訪れ交流会を実施いたしました。



「U-14 アセアンドリームフットボールトーナメント」は、“選手の育成や強化、アジア全体でのサッカーのレベルアップ、選手発掘、国際交流とグローバル人材の育成”を目的としてスタートした大会です。タイを中心に東南アジア各国にて様々な普及・育成活動が続けている、大会アンバサダーで元ガンバ大阪の木場昌雄氏（一般社団法人 Japan Dream Football Association(JDFA) 代表理事/Jリーグ・アジアアンバサダー）の理念に共感し、当社は初回から大会を支援しています。スポーツを通じた夢の実現を応援するCSR活動の一環として、これからも継続的にサポートしてまいります。

今年の7月にタイ・バンコクで開催された第8回大会に当社は冠スポンサーとして協賛し、その大会の中で才能と可能性が感じられた2選手がアセアンドリームプレイヤーとして選出され、去る9月15日（月）～9月21日（日）の7日間、日本に滞在し、東京ヴェルディアカデミーの練習に参加しました。

滞在中の9月17日（水）には、JDFA 代表の木場氏と共に2選手が当社東京オフィスを訪問。代表取締役社長 森下雄司からは「挑戦を恐れず夢を追い続けてほしい」と熱いエールが贈られ、終始和やかな雰囲気で行われました。日本のJリーグクラブの環境や実力を肌で感じ、今回の経験を糧に、今後どのように成長していくのか、多くの日本のサッカー関係者の皆様にもご覧いただきたいと思います。今後ぜひご注目ください。

【2025 アセアンドリームプレーヤー2選手のご紹介】



(左)

名前：Pakin Thamteing

(パキン・タムティング)

ニックネーム：コプター

生年月日：2011年4月28日生まれ

ポジション：FW

練習参加の感想： 練習では多くのことを学びました。特に、攻撃時に味方のほしいタイミングでパスを出すことと、得意のサイドからのカットインやシュートの精度を高めたいと感じました。短い期間でしたが前向きにトライできたと思います。将来はJリーグでプレーできるプロサッカー選手を目指し、今回の経験を生かして成長していきたいです。サポートしてくださった皆さんに感謝しています。

(右)

名前：Naranon Netnatta

(ナラノン・ネットナッタ)

ニックネーム：フォーク

生年月日：2011年3月4日生まれ

ポジション：MF

練習参加の感想： 日本の選手と比べて技術面よりも体力の差を強く感じました。タイに帰国後は体力面をもっと鍛えたいと思います。期間中は東京ヴェルディアカデミーのスタッフや多くの方々に応援していただき、感謝しています。この経験を生かし、将来はプロサッカー選手として活躍できるよう頑張ります。また日本でプレーできる日を楽しみにしています。

■一般社団法人Japan Dream Football Association (JDFA) について

元ガンバ大阪キャプテン木場昌雄氏が2011年に設立し、代表理事を務める組織です。東南アジア諸国でのサッカークリニックの開催や各国リーグ視察、有力選手のピックアップなどの活動を通じて、未来ある子供達に夢を与え、同時に日本サッカー界・アジアサッカー界の発展を目指しています。

公式HP：<http://j-dreamfootball.net/>

■森下仁丹と東南アジア諸国のつながり

当社は約80年前から、東南アジア地域、とくにタイとの深い関係を築いてきました。「仁丹」をはじめとする製品は、今も現地の人々の生活に溶け込み、世代を超えて愛されています。そうした日頃のご愛顧に感謝の気持ちを示すため、JDFAおよび本大会へのスポンサーシップを通じて、子供たちのチャンスと夢の実現に寄与したいと考えています。